

進路の選択肢はまだある!

# 好きの先にある 意外なシゴト

最終回

取材・文/夏目幸明 デザイン/Permanent Yellow Orange  
イラスト/越井隆 撮影/久富健太郎

イキイキと働く人も  
今の職業に至るまでに  
様々な「選択肢」を考えている。  
このコーナーもいよいよ最終回。  
キミも自分の「好き」が生きる  
将来の選択肢がほかにもないか  
視野を広げてみよう。



Q 尊敬する人物は?  
A 今までに会った  
学校の先生方

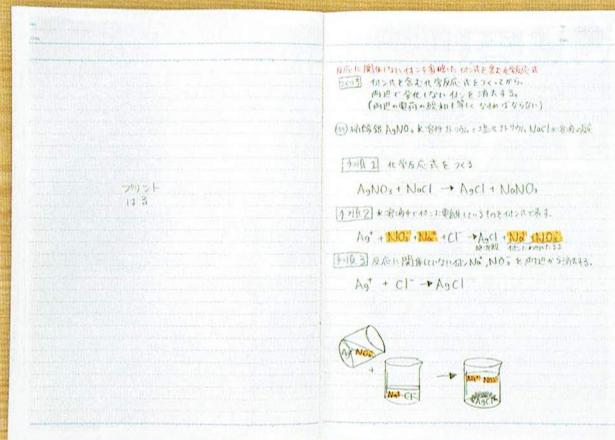
Q 高校時代の  
部活は?  
A テニス部

Q 休日の  
過ごし方は?  
A 家族と買い物

Q 大学時代の  
アルバイトは?  
A 4年間  
塾講師でした

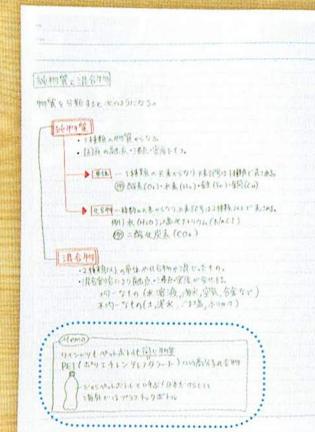
中央大 法学部卒  
宮崎 柚香さん(25歳)

授業の流れに沿ってプリントを貼る



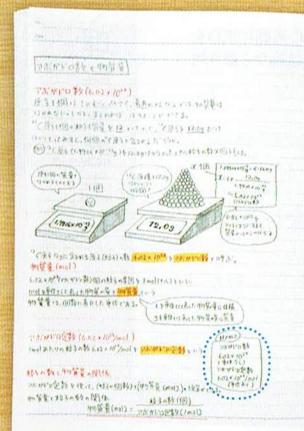
プリントをもとに授業が進んだ場合は、ノートに  
スペースをあらかじめとっておき、家で貼って  
いました。授業で使った順序に沿って貼るのが原則。  
(キララン先輩)

身近な話題をメモ



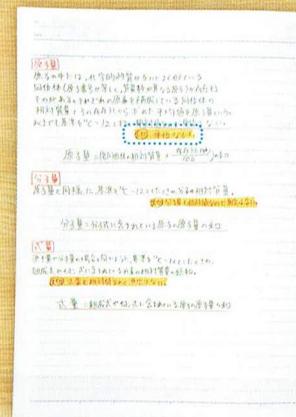
化学に興味を持つため、身近な生活につながる  
話題が出てきたら積極的にメモしていました。  
(キララン先輩)

「単位の意味」は必ず書き残す



「g/mol(モル質量)」などの単位が何を意味する  
のかわかれば、計算式をつくりやすくなります。  
あいまいなら先生に質問して、必ずノートに残し  
ましょう。(「ゼミ」編集室)

理解できたことも書いておく



授業で聴いて納得できたことでも、確認の意味  
でメモしておきましょう。「重要!」などと書いて  
おくだけでも復習に役立ちます。(「ゼミ」編集室)

先輩チューター&編集室直伝「もっと美ノート」テク

ノートを活用して  
複雑な知識を整理

化学の授業では、夏休み明け以降  
ますます複雑な内容を学ぶこと  
になる。特に文理選択で理系を選  
択する人は、今習っている内容を  
土台として高2以降により高度な  
知識を積み重ねていく必要がある。  
今、ノートをつくりながら原理・  
原則を理解し、頭の中を整理する  
習慣をつけておけば、「大切なポイ  
ントを絞り込める」「問題演習でつ  
まづいた時の戻りどころができる」  
など様々なメリットが期待できる。

この連載は今回が最終回。  
これからも、理解を助ける  
ノートづくりを実践していこう。

キララン先輩たち「先輩  
チューター」に相談できる!  
ノートのことも聞けるよ。  
先輩ダイレクト

「高校講座サイト 会員ページ」  
からアクセス  
<http://kzemi.jp/> または  
高校講座 会員 検索

※詳しくは4月号または入会月  
号でお届けの『高1講座 講座紹  
介BOOK』をご確認ください。

「世界平和への貢献」で真っ先に  
思いついたのは「国際連合」。でも、  
社会人経験がないとすぐには入れま  
せん。だったら英語を生かせる旅行  
業や添乗員になってまずは国際的な  
経験を積むか。様々な選択肢を考  
えるなかで行ったインド旅行。現地  
で、国や政府の枠にとらわれずに援  
助活動を行う「NGO」の働き方を  
見て「これだ！」と思いました。

※NGO（非政府組織）：民間人や民間団  
体のつくる機構・組織。軍縮や飢饉救済  
環境保護などの問題にかかわる活動を行う  
非営利組織。

### 一般企業？国際連合？ 導き出した第三の働き方

### スラムで笑う子どもから 貧困・平和を見直す

大学で児童労働や人身売買の現実  
などを学び、平和実現の方法を考え  
る日々でした。そんななか、海外ポ  
ランテニア活動見学のプログラムに  
参加した時のこと。インドのスラム  
にいながら、両親と楽しそうに働く  
子どもを見て衝撃を受けます。「平  
和や貧困はいろいろな面からとらえ  
るべきだ」。平和とのかかわり方を  
いっそう模索し始めました。

大学  
4年生

政府でも企業でもない働き方  
政府や国の枠にとられない  
NGOの働き方にひかれる。

大学  
1年生

〈人権法〉  
児童労働 人身売買

世界で脅かされる平和と法  
人権を守るべき法を学ぶ一方で  
多数の脅かされている法や人権を知る。

大学  
3年生

「貧乏=不幸」ではない？  
スラムで楽しそうに働く子どもを見て  
平和とは何？どうかかわれる？を考えた。

実際に就いた  
職業とは？

中学生  
2年生

海外にある知らない世界への興味  
食事の量やおおらかな教育など  
文化の違いから世界の広さを感じる。

小学  
3年生

戦争から「平和」を考え始める  
戦争の授業について聞くと涙した祖母。  
平和について考え始める。

高校  
3年生

「法」による平和とのかかわり方  
「国際的」「平和」というテーマから  
人や国に影響力のある「法律」に考えが至る。

## 宮崎さんが 今の仕事に 就くまで

宮崎さんは、学生時代に  
何を学び、何に興味を  
持ったか聞いてみた！

戦争と祖母の涙から  
「平和」の大切さを学ぶ

小学校の時、原爆の悲劇を描いた  
『はだしのゲン』を見て、新聞をつ  
くる授業を受けました。戦争に興味  
を持って、東京大空襲を生き延びた  
祖母に話を聞くことに。そこで、祖  
母がポロポロと涙をこぼし、実は多  
くの兄妹を空襲で亡くしたことを聞  
き、衝撃を受けます。「なぜこんな  
悲しいことが起こるの？」私が進路  
を考えるテーマになりました。

### 海外まで平和の視野を広げ 至った「法律」による平和

中学生の時、母との海外旅行で異  
国との文化の違いを認識してから、  
海外で働くことも意識し始めまし  
た。その後、高校生になり、「世界  
規模で平和に携わりたいなら、専門  
知識をつけたら？」という先生のひ  
と言で学問を調べ始めます。結果、  
ほとんどの国で、影響力の強い『法  
律』に興味を持ち、国際法を学んで  
平和に貢献しようと思いました。



ボランティアプラットフォーム  
Volunteer Platform

日本の善意を、私の手で  
世界中に届けよう！

私にとっての「平和」の答え  
「教育支援」の提供

国や地域によって、食料、教育など、どんなボランティアが必要かは異なります。一方で、ボランティアをしたくても、どこで何をすべきかわからない方がたくさんいます。そこで、必要なボランティアを現地の人と話し合いながら企画。インターネットを通して世界中にボランティアの募集をし、人材を派遣・運営するのが私の仕事です。

最初の2年は私自身が、カンボジアの孤児院でボランティアとして、子どもに英語や日本語を教えました。貧しい子どもも、語学力を養えば職業や労働環境を選べます。そういった「選択肢」が増えた状態で自身の幸せを実感してほしいと思っています。これが学生時代に直面した「貧困とは何か」という問いの1つの答えです。

今は日本で、世界中の援助を求める団体と話し、「ボランティアがどのように活動支援するか」の企画を担っています。参加するのは私ではなく世界中の参加者ですが、企画が貢献に繋がるように、現地の方々と綿密に連絡を取り運営します。

学問・職業・企業…どの選択も、ずっと「平和」に思いをはせたことが、根底の動機です。いろいろな価値観に触れてください。それは仕事選びにも仕事自体にも生きます。

宮崎さんの職業は  
NGOにおける  
海外ボランティアの  
企画・運営



英語教育の人材派遣や食料の運送など現地の「幸せ」をしっかりとらえて企画する



増えてきているんですよ！と宮崎さん

